

履修方法・修了要件

人間総合科学研究科 看護科学専攻(博士前期課程)

【履修方法・修了要件】

		看護科学	
科目区分	科目群	条件又は科目名等	修得単位数
専門基礎科目	専攻共通科目	必修 「看護科学論」(2単位) 選択必修 「看護コミュニケーション論」(2単位) ……………「看護コンサルテーション論」(2単位)	必修科目4単位を含む 8単位以上
		「看護学研究法」(3単位)、「保健統計学」(2単位)、「国際看護学」(2単位)、「看護倫理学」(2単位)、「看護教育論」(2単位)、「フィジカルアセスメント」(2単位)、「病態生理学」(2単位)、「臨床薬理学」(2単位)、「看護教育学」(2単位)、「地域母子保健」(1単位)、「女性と健康」(2単位)、「生殖生命倫理学」(2単位)、「女性の精神保健学」(1単位)、「周産期のフィジカルアセスメント」(1単位)	
専門科目	実践看護学領域	専門科目のうちから各自の専門研究領域の「特論」と「演習」各2単位を含む	8単位以上
	健康システム看護学領域		
	専攻共通科目		
		修了単位数	30単位以上

- ・他専攻、他研究科の開講科目、大学院共通科目のうち、6単位を上限として、修了要件単位として認定できることとする。ただし、事前に指導教員の承諾を得ること。
- ・養護教諭専修免許に必要な単位数等については、「教育職員免許状の修得について」に記載されているので参照のこと。
- ・日本看護系大学協議会が定める専門看護師教育課程基準に則した科目(備考欄にCNS共通科目またはCNS専門科目と記載されているもの)の必要修得単位数は、CNS共通科目A:8単位以上、共通科目B:6単位。CNS専門科目:24単位以上(実習10単位以上を含む)の計38単位以上である。
- ・eラーニングを含む科目については、eラーニング聴講用IDおよびパスワードが必要となるため、所定の手続きを行うこと。

※平成27年度看護科学専攻履修モデル(CNS履修モデル含む)は別紙のとおり

【修了要件】

2年以上在学し、授業科目について所定の単位を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

平成27年度看護科学専攻履修モデル

区分	単位数	専門看護師(CNS)				助産課程	看護科学	CNS教育課程において必要な修得単位数	助産課程において必要な修得単位数	
		がん	慢性	精神	家族					
専門基礎科目	看護科学論	2	●A	●A	●A	●A	●	共通科目A: 8単位以上 共通科目B: 6単位 計14単位以上	必修を含む 19単位以上	
	看護コミュニケーション論	2					●			選択
	看護コンサルテーション論	2	●A	●A	●A	●A	●			●
	看護学研究法	3	○A	○A	○A	○A	○			
	保健統計学	2					○			
	国際看護学	2								
	看護倫理学	2	○A	○A	○A	○A				
	看護教育論	2	○A	○A	○A	○A				
	フィジカルアセスメント	2	○B	○B	○B	○B				
	病態生理学	2	○B	○B	○B	○B				
	臨床薬理学	2	○B	○B	○B	○B				
	看護教育学						○			
	地域母子保健論	1					○			
	女性と健康	2					○			
	女性の精神保健学	1					○			
生殖生命倫理学	2					○				
周産期のフィジカルアセスメント	1					○				
専門科目 実践看護学領域	発達支援看護学特論	2				○	○	【家族看護分野】分野共通科目: 12単位 分野専門科目: 2単位 実習: 10単位 【がん看護分野】分野共通科目G: 6単位 分野専門科目S: 8単位 実習C: 10単位 【精神看護分野】分野共通科目: 12単位 分野専門科目: 2単位 実習: 10単位	専門科目のうちから各自の専門研究領域の「特論」と「演習」各2単位を含む33単位以上	
	発達支援看護学演習Ⅰ	2					○			
	発達支援看護学演習Ⅱ	2					○			
	発達支援看護学演習Ⅲ	3					○			
	発達支援看護学演習Ⅳ	3					○			
	助産学特論Ⅰ	2					○			
	助産学演習Ⅰ	2					○			
	助産学特論Ⅱ	2					○			
	助産学演習Ⅱ	2					○			
	助産学特論Ⅲ	1					○			
	助産学演習Ⅲ	1					○			
	助産学実習Ⅰ	8					○			
	助産学実習Ⅱ	3					○			
	養育期家族援助学	2					○			
	家族看護トランスレーショナル・リサーチ演習	2					○			
	家族看護学特論	2					○			
	家族生活アセスメント学	2					○			
	家族アセスメント/インターベンション学	2					○			
	家族看護学演習	2					○			
	家族看護実践学	2					○			
	家族看護学基盤実習	2					○			
	家族看護学展開実習	4					○			
	家族看護学統合実習	2					○			
	発達支援学特論	2								
	発達支援学演習	2								
	がん看護学特論Ⅰ	2	○G							
	がん看護学特論Ⅱ	2	○G							
	がん看護学特論Ⅲ	2	○S							
	基礎腫瘍学特論	1	○G							
	臨床腫瘍学特論	1	○G							
	緩和ケア特論	2	○S							
	がん看護学演習Ⅰ	2	○S							
	がん看護学演習Ⅱ	2	○S							
	がん看護学実習Ⅰ	2	○C							
	がん看護学実習Ⅱ	4	○C							
がん看護学実習Ⅲ	2	○C								
健康障害看護学特論	2			○						
健康障害看護学演習	2			○						
精神看護学特論Ⅰ	2			○						
精神看護学特論Ⅱ	2			○						
精神看護学特論Ⅲ	2			○						
精神看護学演習Ⅰ	2			○						
精神看護学演習Ⅱ	2			○						
精神看護学実習Ⅰ	4			○						
精神看護学実習Ⅱ	4			○						

専門科目	健康システム看護学分野	地域健康システム看護学特論	2						専門科目のうちから各自の専門研究領域の「特論」と「演習」各2単位を含む8単位以上	【慢性看護分野】 分野共通科目：14単位 実習：10単位	
		地域健康システム看護学演習I	2								
		地域健康システム看護学演習II	2								
		地域健康システム看護学演習III	2								
		環境調整看護学特論	2								
		環境調整看護学演習 I	2								
		生体調整看護学演習	2								
		慢性看護学Ⅰ特論	2		○						
		慢性看護学Ⅱ特論・演習	2		○						
		慢性看護学Ⅲ特論	2		○						
		慢性看護学Ⅲ演習	2		○						
		慢性看護学Ⅳ特論	2		○						
		慢性看護学Ⅴ特論	2		○						
		慢性看護学Ⅴ演習	2		○						
		慢性看護学実習Ⅰ	4		○						
		慢性看護学実習Ⅱ	4		○						
		共通	インターンシップ	2							
	看護科学特別実習		2	○	○	○	○	●	●		
	看護科学特別研究		4	●	●	●	●	●	●		
	修了単位数合計									30	42
									単位以上		

注1: 専門看護師教育課程としての指定科目は表中の○印で示す。

注2: ●専攻必修科目

注3: ○印横のアルファベットは専門看護師の各専門分野における科目の種類を示す。

注4: 別途、看護科学専攻前期博士課程が定める履修方法に従って修了要件を満たすことが必要。

※がん看護専門看護師養成課程の正規の単位数を修得した者は、国際協力型がん臨床指導者養成プログラムにおける国際協力型高度実践看護学(がん看護)コースを修了したものと認められます。